

「第2期横浜市依存症対策地域支援計画策定支援業務委託」受託候補者特定に係る実施要領

(趣旨)

第1条 「第2期横浜市依存症対策地域支援計画策定支援業務」の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、「横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱」及び「横浜市委託に関するプロポーザル方式運用基準」に定めがあるもののほか、この実施要領の定めるところによる。

(実施の公表)

第2条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示する。

- (1) 当該業務の概要・基本計画等
- (2) プロポーザルの手続
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

(提案書の内容)

第3条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは別に定める。

- (1) 業務実績（類似業務の実績等）
- (2) 当該業務の業務実施方針
- (3) 当該業務に関する具体的な提案
- (4) その他当該業務に必要な事項

(評価)

第4条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 業務実績等
- (2) 業務実施方針の妥当性・実現性
- (3) 提案内容の妥当性・実現性
- (4) その他、当該業務に対する意欲等

2 プロポーザルの評価にあたって、提案者にヒアリングを行うものとする。

3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。

4 応募団体が1団体のみの場合であっても、健康福祉局入札参加資格審査・指名業者選定委員会の定める最低基準に満たないときは特定されず、再度プロポーザルを行うものとする。

5 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 プロポーザルの評価にあたっては、第2期横浜市依存症対策地域支援計画策定支援業務に係る

プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）を別に設置し、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
 - (2) 評価の着眼点、評価項目及びそのウエイト並びに評価基準の確認
 - (3) 評価の集計及び報告
 - (4) ヒアリング
- 2 評価委員会には委員長、副委員長及び委員を置き、次のとおりとする。

委員長 健康福祉局生活福祉部長

副委員長 健康福祉局総務部総務課長

委員 健康福祉局地域福祉保健部福祉保健課長

健康福祉局障害福祉保健部障害施策推進課長

健康福祉局障害福祉保健部精神保健福祉課長

健康福祉局障害福祉保健部こころの健康相談センター長

- 3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。
- 4 評価委員会は、委員の5分の4の出席をもって成立する。
- 5 受託候補者の特定（評価の順位付け）は、評価委員会の各委員の評価の合計点が高い者から行う。ただし、いずれかの項目にC評価のあるものは原則として選定しない又は評価の合計点が満点の10分の6の得点に達していない場合は受託候補者の特定の対象から除くものとする。
- 6 受託候補者の特定（評価の順位付け）に際し、評価委員会の各委員の評価の合計点が同点である場合は、評価基準の「提案内容に関すること」の合計点が高い者を上位とし、その合計点も同点である場合は、評価委員長が評価の順位を定めるものとする。
- 7 委員長は、評価結果を健康福祉局入札参加資格審査・指名業者選定委員会に報告するものとする。

（評価結果の審査）

第6条 健康福祉局入札参加資格審査・指名業者選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員会の委員の評価が適正に行われたこと
- (2) 評価委員会の審議及び評価の集計等が適正に行われたこと
- (3) 評価結果に関し、必須事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附則

この要領は、令和6年11月13日から施行する。